

『大洗町内の原子力事業所②』

第14回のコラムは、大洗町にある原子力事業所「日本核燃料開発株式会社」について紹介します。



日本核燃料開発株式会社（NFD）



日本核燃料開発株式会社（NFD：Nippon **N**uclear **F**uel **D**evelopment）は、1972年に大洗町の南側に研究所を開設し、原子力発電所の核燃料に関する試験や研究、福島第一原子力発電所の廃炉に関する分析業務を行っています。

業務概要

原子力発電所再稼働後の安全運転に向けた試験技術の開発業務

NFDは、核燃料に関する試験はもとより、原子炉で長年使用した重要機器をそのまま使い続けても大丈夫かどうか、金属材料の安全性を確認するための試験方法などの技術開発を行っています。

福島第一原子力発電所の廃炉に関する分析業務

福島第一原子力発電所の原子炉は、東日本大震災による津波の影響で、原子炉内を冷やすことが出来なくなり、内部の燃料等が溶けて原子炉内に溜まってしまっている状態です。（燃料デブリ）

強い放射線を出す燃料デブリを試験的に少量取り出し、その状況等を分析します。



福島第一原子力発電所の安全な廃炉に向けて、デブリの分析は非常に重要な研究じゃ！